

2026年2月12日

各 位

会社名 株式会社 J P M C
代表者名 グループCEO 代表取締役 社長執行役員 武藤 英明
(コード番号: 3276 東証プライム市場)
問合せ先 グループCFO 取締役 常務執行役員 屋宮 貴之
(電話 03-6268-5225)

「CDP2025 気候変動スコア」Bスコア獲得のお知らせ

当社グループは、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体 CDP(※1) が公表された「気候変動」の分野で、当社グループの気候変動対策の取り組み・情報開示が評価され、「B」評価(※2)を3年連続で取得しましたことをお知らせいたします。



今回当社が獲得した「B」スコアは、CDP 評価において上位から3番目に位置づけられる「マネジメントレベル」とされ、気候変動に関するリスクと機会を認識したうえで、戦略・目標・具体的なアクションを策定し、情報開示とともに実行に移している企業であることを示す評価です。

当社グループは「持続可能な賃貸経営を。」をブランドスローガンとして制定し、オーナーの賃貸経営を代行する事業を展開しております。2022年には「Super Reuse」をリリースし、スクラップ&ビルドを繰り返すのではなく、既に建っている物件をオーナーの収益を毀損させずに再生し運用することで、不要な新築の建築を抑制し、CO2の排出抑制にも貢献しております。

今後も気候変動対策を推進するとともに情報開示に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 : CDP(Carbon Disclosure Project)は、世界で唯一の独立した環境開示システムを運営する非営利団体です。企業の環境情報開示におけるグローバルスタンダードとして広く認知され、環境課題に関心が高い多くの企業、金融機関、自治体が、環境への影響を管理するためにCDPのシステムを活用しています。2024年度は、運用資産総額が142兆米ドル(約2.2京円)を超える700以上の機関投資家が、CDPのプラットフォームを通じた環境情報の開示を求め、過去最多の約24,800社の企業がこれに応じました。

※2 : 8段階 (A、A-、B、B-、C、C-、D、D-) の評価

【関連リンク】

サステナビリティ <https://www.jpmc.jp/company/sdgs/>

以 上